長野県辰野高等学校　令和8年度 学校自己評価【学校重点目標】（中間）

A:達成できている B:ほぼ達成できている C:あまり達成できていない D:達成できていない

	対 象	A	B	C	D
今年度の重点目標	1　基本的生活習慣を身につけ、社会や学校のルールやマナーを守って生活する意識の向上を図る。	9%	26%	61%	4%
	2　落ち着いて学習に取り組める環境を大切にし、生徒と教員が共に授業改善に取り組み、基礎学力の向上を図る。	0%	43%	57%	0%
	3　進路意識の向上を図り、希望進路の実現を目指す。	0%	74%	26%	0%
	4　保護者・地域と学校との関わりの大切さを理解し、生徒会活動、部活動などの諸活動に積極的に参加できる生徒を育てる。	17%	70%	13%	0%
	5　互いの人格を尊重し協調性を育み、いじめ・体罰のない学校づくりを目指す。	0%	87%	13%	0%

長野県辰野高等学校 令和8年度 学校自己評価【各係・委員会等】（中間）

A:達成できている B:ほぼ達成できている C:あまり達成できていない D:達成できていない －:未実施

領域	重点	対象	評 価 項 目	評価の観点	評価
教育活動	1	生徒支援	ルールを守る習慣の確立	・社会や学校、地域社会の一員としてルールに対して目的を考えるよう指導できたか	B
	2	進路指導学習	主体的な学習態度の育成と自主性・自立心の向上	・授業を通して個別最適な学び、主体的・協働的な学びを実現できたか	B
	2	教育課程	・観点別評価の検討 ・適切な科目選択	・各教科で観点別評価を適切に実施することができたか ・各自の進路目標に対応した科目選択ができるよう指導できたか	B
	2	普通科(コース)	自主性・主体性と探究心の育成	・各コースでの授業を通して興味関心を持たせ、自ら学ぼうとする指導が出来たか ・外部講師や地域との連携を通して探究学習への指導が出来たか	B
	2	商業科	職業人としての意識を持たせる	・地域社会や地域産業の実践的・体験的な学習活動や検定学習を通して、職業人としての基本的な知識や技術の習得ができたか。またそこにかかわる身だしなみやマナー等の態度を身につけさせることができたか	B
	3	進路指導・学習	進路目標の確立と進路実現 指導と評価の一体化の推進	・年間を通して、計画的な進路指導を実施できたか ・進路に関する情報発信を生徒・保護者等に行うことができたか ・就職者への面接指導・進学者への小論指導等が体系的に確立できたか ・ICT機器を有効利用した授業指導と適切な評価を行えたか	B
	3	桜ヶ丘セミナー	進路実現に向けた意識の向上と学習機会の提供	・模擬試験・補習・検定試験を計画通りに実施することができたか	B
	4	生徒会	学校・学年・クラスにおけるリーダーの養成	各種生徒会行事において、学校やクラスをまとめていくリーダーとしての資質を身につけることを目標に、チームワークを大切にし他者と協力して仕事をすることや、先を見通して計画を立て、責任をもって最後までやり通す力やスキルを高めることができたか	B
			俯瞰的視点の養成	SDGsを柱に、地域そして世界に目を向けた活動を通じて、人間的な成長を目指すことができたか	B
	4	三者協議会	生徒会・PTA・職員の三者による、より良い学校づくりの推進	・活発な意見交換によって、より良い学校づくりが進んだか	B
	4	クラブ顧問会	クラブ活動を通して、自主性・主体性を育成	・特別活動としての自覚を持ち、生徒が主体的に活動できるような取り組みができたか ・生徒だけの活動になることなく、顧問が協力し有意義な活動になるよう務められたか ・結果だけではなく、学校の代表となるような活動ができたか	B
	5	生徒支援	互いの人格を尊重する生徒の育成	・生徒が主体的な取り組みを通して「自己肯定感」を高め、「共感的人間関係」を育てられたか	B
	5	保健厚生親和	身体面の健康管理	・怪我や緊急時等への備えは万全であったかまた、その対応は適切であったか ・健康診断の実施と事後指導は適切であったか	B
			精神面の健康管理	・悩みや不安を抱え、保健室へ来室する生徒への対応は適切であったか ・来室した生徒の様子を適切な職員に共有し、その後の指導に生かすことができたか	B

領域	重点	対象	評 価 項 目	評価の観点	評価
学校運営	4	教務	学校運営の円滑な実施	・円滑な学校運営のために、校内の調整・準備役としての活動と見直しができたか ・学校の宣伝活動において、関係部署と連携して、適切な情報提供・効果的な広報ができたか	B
	4	PTA 同窓会	PTA諸活動の在り方を模索しながら、保護者の参加を促す	・参加者を増やす工夫がされたか	B
			PTA活動の内容の充実を図る	・内容の確認と検討がされたか	B
			有効なクラブ助成と同窓会のバスの運用	・職務は順調に遂行できたか	B
	4	企 画	地域に開かれた学校づくりを進める	・中学校や地域に学校の様子などの情報発信ができたか	B
			生徒の成長を促す学校づくり	・研修などを通して職員全体でのサポート体制ができたか	B
			辰野高校の将来像	・辰野高校の将来について検討できたか	B
	4	学校 評議員会	学校評議員からの提言等を学校運営に反映させる	・学校評議員からの提言を、よりよい学校づくりに反映できたか ・生徒の日頃の様子等を知っていただく機会を多く設定できたか	B
全		1学年	学力の定着を基本とし、共生社会の発展に理解を深めさせるとともに自立した人格の形成を目指す指導 (1)基礎から学力を定着させ将来にわたり自分の生き方を創出できる力をつけさせる指導 ・授業を基本に ・探究活動等経験重視 ・諸活動を通じ共同性、社会性を育てる ・自らの進路実現 (2)自分の価値を見出すと同時に他者を尊重し共生社会の発展に理解を深めさせる指導 ・自己肯定感 ・思いやり ・感謝 ・いのち ・人権・平和の意識	・学校での学習活動を生徒自身の生き方と結びつけさせ、前向きに取り組ませることができたか。 ・生徒を注意深く観察し、十分な声掛けにより常に生徒に寄り添うことができたか。 ・クラスや担当の枠を超え、全生徒を育てることができたか。 ・保護者との連絡を密にし、連携することができたか。	B
		2学年	基本的な生活習慣を確立し、他者と協働する力を養う指導 (1) 挨拶と礼儀 (2) 凡事徹底 (3) 基礎学力の定着	・礼儀を重んじ、誰に対しても挨拶することができたか。 ・日頃の清掃や与えられた仕事に責任感を持って取り組むことができたか。 ・学習に十分取り組み、進路活動に対する意欲を高めることができたか。	B
		3学年	学力の定着を基本とし、共生社会の発展に理解を深めさせるとともに自立した人格の形成を目指す指導 (1) 自らの進路実現 (2) 自己肯定感 (3) 18歳成人を踏まえた主権者意識 信頼される人格の形成	・進路実現に向けて常に生徒に寄り添う意識 ・保護者との連絡を密にし、連携を深める意識 ・全職員で連携して全生徒を育てる意識 ・安全・安心な場を生徒へ提供する意識	B